

令和8年度 第2回浜松市立和田東小学校運営協議会



運動会
1、6年 チェッコリ・玉入れ



運動会
5、6年生団体演技



家庭科 調理実習
学校応援し隊 ボランティア5/27

浜松市立和田東小学校

令和8年度 和田東小学校学校運営協議会委員名簿

※敬称略

委員名	住所
わたせ さぶろう 渡瀬 三郎	安間町
こいで ゆきお 小出 幸雄	天龍川町
すずき さちこ 鈴木 佐知子	安間町
なかむら まゆみ 中村 まゆみ	長鶴町
いとう つきみ 伊藤 月見	龍光町
くぼた そう 久保田 創	材木町
いとう あきこ 伊藤 亜紀子	材木町

【座席表】

	小出幸雄 様	渡瀬三郎 様	
鳥居弘起 様			校長
			教頭
鈴木佐知子 様			教務
			飛永
中村まゆみ 様			
	久保田創 様	伊藤亜紀子 様	堀内信広 様 (オブザーバー)
教育委員会	山本様		

令和8年度 第2回和田東小学校運営協議会次第

日時：令和8年6月5日（金）13：30～15：00

会場：和田東小学校 2階 会議室

1 会長挨拶

2 校長挨拶

3 前回会議録確認

4 議長の選出

5 熟議

テーマ「解決すべき子供・学校の課題について」

（1）子供・学校の課題

（2）次回学校運営協議会の熟議テーマ

6 連絡

- ・次回開催日 11月6日（金）14：00～15：30 ※全教職員参加予定
- ・熟議内容「〇〇（課題）」解決のために家庭・地域・学校でできること

7 閉会の挨拶

＜児童の実態＞ ・明るく素直な子が多い。 ・進んで考えを表現するが、深めることが苦手である。	＜地域の実態＞ ・ボランティアに協力的で、学校への期待が大きい。
--	---

＜保護者の願い＞ ・進んで明るい挨拶ができる子に育ってほしい。 ・事故、けがに注意して、健康に生活してほしい。	＜地域の願い＞ ・人を思いやって関わってほしい。 ・地域の行事を大切にしてほしい。 ・生涯にわたって地域に貢献できる人になってほしい。	＜教職員の願い＞ ・進んで話し合ったり、発表できるようになったりしてほしい。 ・課題を解決するために、粘り強く取り組んでほしい。
---	--	--

【学校教育目標】 夢をもち ともに伸びる子

【和田東小学校 総合的な学習の時間の目標】 探究的な見方や考え方を働かせ、地域の人・もの・ことに関わる総合的な学習を通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えることができるようにするために、以下の資質・能力を育成する。 (1) 地域の人、もの、ことにかかわる探究的な学習を行う過程において、課題解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴やよさが分かり、それらの人々の努力や工夫によって支えられていることに気付く。 【知識及び技能】 (2) 地域の人、もの、ことの中から課題を見出し、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理・分析し、伝える相手を意識したまとめ・表現をする力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 (3) 地域の人、もの、ことについての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。 【学びに向かう力、人間性等】

	第3学年（71 時間）	第4学年（48 時間）	第5学年（48 時間）	第6学年（48 時間）
探究課題	地域の特色や昔から受け継がれる行事のよさや課題【地域】	誰もが生活しやすい暮らしを支える仕組み【福祉】	身近な自然環境とそこに起きている環境問題、地球の環境問題【環境】	「働く」とはどういうことか知り、自己の将来を考える【生き方】
学習活動	和田村タイムトラベル	だれにでもやさしい社会	和田東環境調査隊	夢をかなえる～生き方を学ぼう～
知識及び技能	和田東の地域には、公共施設や商店、地域の歴史を伝える文化財があることを調べる活動を通し、それらの発展を願う人々がいることが分かる。	地域には様々な立場の人が暮らし、人々を支える仕組みがあることが分かり、それぞれの立場や思い、願いを知るとともに、支えあう社会の大切さに気付く。	和田東の地域は、水資源が豊富な環境であり、それらを守り支えている人々がいることが分かる。また、地球環境の問題について理解を深める。	偉人や身近な人々、社会で働く人々の生き方を調べる活動を通し、夢の実現には周囲の人々の支えがあることや努力を続けることで実現していることに気付く。
思考力、判断力、表現力等	自分の関心から地域について課題を見出し、様々な方法で調べ、整理・分析し、それらを地域の魅力としてまとめることができる。	地域の様々な立場の人の視点から地域を見直すことで、課題を見出し、情報を収集し、整理・分析し、発信することができる。	生き物やごみなどの調査から問いを見出し、環境について様々な方法で調べ、情報を収集し、整理・分析し、発信することができる。	自己の将来に向けての課題を見出し、なりたい職業の情報を収集し、整理・分析し、伝える相手を意識して表現することができる。
学びに向かう力、人間性等	地域の人、もの、ことに繰り返し関わることを通して、進んで調べたり他者と協力したりして、地域の魅力を見付け、広めていこうとする。	誰もが生活しやすい暮らしができるように、自分たちができることを他者と協力して考えることを通して、全ての人と共に生きることを大切にしようとする。	地域の人々や自然と関わりながら、よりよい環境にしていくために、地域や社会の一員として自分ができることを考え、実行していく。	課題解決に向けて、自分なりの方法を工夫したり他者と協働したりして、自己の将来と向き合っていこうとする。
		第4学年（23 時間）	第5学年（23 時間）	第6学年（23 時間）
探究課題		にこぴんプロジェクト		
学習活動		笑顔あふれる元気な学校をつくろう【校内環境】	笑顔あふれる元気な学校をつくろう【図書・給食・体育・保健】	

＜指導方法＞ ・五感を駆使する体験活動の重視 ・グループ活動を取り入れた共同的な学習活動の充実 ・個に応じた指導の工夫 ・教科等の学習との関連的な指導	＜指導体制＞ ・地域人材、地域素材の効果的運用 ・調べ学習で使用する学校図書館やICT 機器の整備 ＜学習の評価＞ ・ポートフォリオを活用した評価の充実 ・指導と評価の一体化の充実	＜評価の観点＞ ・探究的な学習を行う過程において、課題解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴やよさが分かり、それらの人々の努力や工夫によって支えられていることを理解する。【知識・技能】 ・実生活から問いを見出し、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析し、伝える相手を意識して、まとめ・表現している。【思考・判断・表現】 ・探究的な学習に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】	＜各教科等との関連＞ 他教科等及び総合的な学習の時間で身に付けた資質・能力を相互に関連付け、学習や生活において生かし、それらが総合的に働くようにする。その際、言語能力、コミュニケーションの能力など、全ての学習の基盤となる資質や能力を重視する。 ＜中学校との連携＞ 児童生徒の日々の様子や学習状況などについて、小中合同の研修会を実施し、情報交換をして、相互に連携を図る。
---	--	--	--

これまでの委員会は、3月をもって終了

令和8年度は、「にこぴんプロジェクト」を始動。

4つのプロジェクトチームに分かれて、学校をよりよくする活動を自分たちで考え、実行する。

目指すは、『笑顔あふれる元気な学校』

教師はあくまでも伴走者。困ったら相談に乗る。

プロジェクトは、

(仮称)①体育プロジェクト

②健康安全プロジェクト

③食育プロジェクト

④読書プロジェクト

それぞれの方面から、探究のサイクルを回しながら学校の課題を解決していく。

例えば、

①体育プロジェクト

- ・体育器具庫の使い方がよくない…どうしたら、使い方がよくなるか、そもそもみんなが使いたい
用具は何か調査→購入物品決め
- ・昼休みに、サッカー以外のスポーツも盛り上げたい…体育館でバスケタイム、バレータイムの日
- ・なわとびの技を増やしたい…得意な上級生が、下級生に教える会を企画
- ・体力テストで弱い投力を何とかしたい…投力向上イベントを企画

②健康安全プロジェクト

- ・健康に生活したい…健康チェック…これまで通り？
かぜ、インフルエンザ予防(対策)の呼びかけ
虫歯予防週間に、お絵かき大会を企画。歯の磨き方を動画で。
- ・安全に生活したい…校内危険箇所マップづくりで危険箇所を啓発

③食育プロジェクト

- ・フードロスが減らしたい…学校の残食ってどうなるの？調査、家庭への広報
給食残食なし学級へのミニ賞状を続ける？
- ・給食の献立をリクエストしたい！…和田小の栄養士を招いて献立について理解
自分たちで考えてみる
- ・給食を楽しく食べたい…給食の時間が楽しくなる放送を企画。

④読書プロジェクト

- ・本の貸し出しを増やしたい…にこぴんブック10の見直し、おすすめ本調査、紹介
上級生が下級生におすすめを紹介
- ・本をていねいに扱ってほしい…本を扱う際に気を付けるポイントを動画で説明
- ・本を楽しんでほしい…読み聞かせ会やブックトークを開催

これは、あくまでも例。

自分たちが、和田東小の課題を少しでも解決して、よりよい学校にしていこう。

やってみて、課題や改善点を見つけて、もう一度チャレンジする。

主役は、プロジェクトチームの君たちだ！

「笑顔あふれる元気な学校」 を目指して

和田東小学校の課題を
解決するために



子どもたちの実態として

- 受け身、指示待ちの児童が多く、
主体性に欠ける。（学習面・行動面）
- 安全に対する意識が低い。
→昔より実体験が不足している。



自ら考え、主体的に行動する力を
育むための一手として



にこぴんプロジェクト始動

にこぴんプロジェクトを通して



プロジェクトは4つ

- ・ 体育
- ・ 食育
- ・ 読書
- ・ 健康安全



具体的には・・・

その他、総合的な学習の時間では

3年	和田村タイムトラベル	地域の行事、よさ、課題
4年	だれにでもやさしい社会	だれもが生活しやすい暮らし・UD
5年	和田東環境調査隊	身近な自然・環境問題、SDGs
6年	夢をかなえる ～生き方を学ぼう～	働くとは？描く夢の実現

これまででは

3年	地域の方の話・地域にある企業の話・ 地域探検（天竜木材、天王製畳、鈴木醸造、 カットサロン笹田、株ひらた、妙恩寺）
4年	八生会訪問・まちなかUD見学・ 高齢者及び障害者体験 （アイマスク、車椅子、ボッチャ）
5年	わの森、にこびん池調査・環境講座（水、森林、 SDGs）天竜川、アマゴ飼育、サツキマス放流
6年	夢をかなえる生き方講座 （ブルーレヴズ、トップアスリート）

学びの基礎となるのは、
非認知能力…テストで測れない



でも今の子どもたちを取り巻く環境は

- ・コロナ禍を経て、デジタル化が進行
体験不足が加速（危ないから止める）
- ・ゲームやネットで一人で遊ぶ時間↑
一方で、友達と遊ぶ時間↓
- ・世帯によっての体験格差
（キャンプ、習い事、旅行など）
- ・空き地、自然、遊び場の減少

その力を育むためには、体験的
な活動の充実が欠かせない



地域のよさを学び、多くの
人と関わる豊かな学びへ

どんな体験ができそうか… 何が必要か…

1年	生活科…アサガオ、冬の遊び、秋見つけ
2年	生活科…野菜（さつまいも、大根）、九九、スーホ
3年	和田村タイムトラベル
4年	だれにでもやさしい社会
5年	和田東環境調査隊
6年	夢をかなえる～生き方を学ぼう～

